

事務事業評価事業一覧表(令和4年度決算)

一般会計

事務事業番号	事業名			担当部署	事業の評価	ページ
	款	項	目			
	消防費	消防費	常備消防費			
09010101	救急救命士等研修訓練事業			消防本部総務課	A	366
09010102	緊急消防援助隊合同訓練事業			消防本部総務課	A	367
	消防費	消防費	非常備消防費			
09010201	消防団活性化事業			消防本部総務課	A	368
	消防費	消防費	消防施設費			
09010301	消防施設・装備等整備事業			消防本部総務課	A	369
09010302	消防車両整備事業			消防本部総務課	A	370
09010303	救急車両整備事業			消防本部総務課	A	371
09010304	高機能消防指令システム部分更新事業			消防本部総務課	A	372

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 09消防費

項 01消防費

目 01常備消防費

事務事業番号 09010101

事業名		救急救命士等研修訓練事業		担当部署	消防本部 総務課						
根拠法令		消防法									
令和4年度決算額		5,078	千円	項目評価							
財源内訳	国道支出金		千円								
	地方債		千円								
	その他	87	千円								
	一般財源	4,991	千円								
事業費（総計）		12,240	千円								
決算額		5,078	千円								
人件費		7,162	千円								
				総合評価							
				A							
事業の目的		救急救命士・大型自動車・大型特殊自動車運転資格者を養成し、円滑に隊・車両の運用を図ります。									
事業の内容 SDGs17の目標		 <ul style="list-style-type: none"> ・救急救命士養成 ・大型自動車運転免許資格者養成 ・大型特殊自動車運転資格者養成 									
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度			
		救急救命士養成			人	1	1	1			
		大型自動車運転免許資格者養成			人	5	5	5			
		大型特殊自動車運転資格者養成			人	1	1	1			
項目評価		高 → 低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							消防活動等に必要な資格者等を養成し、強固な消防体制の運用を図っているため「4」としました。		
効率性		●							他の職員へも知識、技術を伝承することにより、効率的な消防活動等を行うことができていたため「4」としました。		
公平性		●							計画的な資格者等の養成により市民の安心・安全を図ることができるため「4」としました。		
将来性		●				消防体制の維持、強化のために計画的に資格者等の養成を実施することにより、市民の安心・安全を図ることができるため「4」としました。					
総合評価		A				免許、資格を有する職員は、市民の安心・安全には欠かすことができず、今後も養成を継続したいと考えています。					
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 09消防費

項 01消防費

目 01常備消防費

事務事業番号 09010102

事業名		緊急消防援助隊合同訓練事業		担当部署	消防本部 総務課				
根拠法令		消防法							
令和4年度決算額	1,509	千円	項目評価				<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">A</td> </tr> </table>	総合評価	A
総合評価									
A									
財源内訳	国道支出金		千円						
	地方債		千円						
	その他		千円						
	一般財源	1,509	千円						
事業費（総計）	8,671	千円							
決算額	1,509	千円							
人件費	7,162	千円							
事業の目的	緊急消防援助隊の技術の向上及び連携活動能力の向上を図ります。								
事業の内容	<p>SDGs17の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急消防援助隊 北海道東北ブロック合同訓練（青森県） ・エネルギー産業基盤災害即応部隊に係る訓練（石狩市） ・緊急消防援助隊 全国合同訓練（静岡県） 								
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度			
	緊急消防援助隊 北海道東北ブロック合同訓練		回	1	1	0			
	エネルギー産業基盤災害即応部隊に係る訓練		回	1	0	不参加			
	緊急消防援助隊 全国合同訓練		回	1	延期	0			
項目評価	高 → 低			評価の理由					
	4	3	2				1		
	有効性	●							技術の向上及び連携活動能力の向上を図ることで、消防体制が強化され、水火災又は地震の災害を防除し、これらの災害による被害の軽減が図られているため「4」としました。
	効率性	●							部内で知識、技術の伝承をすることで、質の高い隊・車両の編成、運用を行っているため「4」としました。
	公平性	●							北海道、東北及び新潟を含めた8道県で年度ごとに持ち回りで実施し、大規模・特殊災害に、迅速かつ確な対応が出来るよう実施しているため「4」としました。
将来性	●				南海トラフ地震を想定した緊急消防援助隊全国合同訓練に参加することで、有事の際の迅速な活動につながるため「4」としました。				
総合評価	A			大地震を起因とする市街地火災、石油コンビナート火災、土砂災害、津波浸水等の複合的な災害から市民の安心・安全を守るために、計画的に訓練へ参加し、技術の向上及び連携活動能力の向上を図ります。					
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 09消防費

項 01消防費

目 02非常備消防費

事務事業番号 09010201

事業名		消防団活性化事業		担当部署	消防本部 総務課						
根拠法令		消防法									
令和4年度決算額		163	千円	項目評価				総合評価 A			
財源内訳	国道支出金		千円								
	地方債		千円								
	その他		千円								
	一般財源	163	千円								
事業費（総計）		2,312	千円								
決算額		163	千円								
人件費		2,149	千円								
事業の目的		消防団員の消防技術の向上を図ります。									
事業の内容 SDGs17の目標		 <ul style="list-style-type: none"> ・ 多数傷病者事故対応訓練 ・ 樽前・錦岡地区防災避難訓練 									
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度			
		多数傷病者事故対応訓練			回	1	不参加	0			
		樽前・錦岡地区防災避難訓練			回	1	中止	中止			
項目評価		高 → 低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							各種訓練の実施により、消防団員の消防技術の向上を図ることができたため「4」としました。		
効率性		●							消防団員の人件費が事業費の大半を占めており、必要最低限の経費で事業を実施しているため「4」としました。		
公平性		●							多数傷病者事故は市内全域で発生の可能性があり、有事の際の迅速な対応につながるため「4」としました。		
将来性		●				継続した事業実施により、消防団員の消防技術の更なる向上が期待できるため「4」としました。					
総合評価		A				個別訓練だけではなく、他機関との合同訓練を実施することにより、消防技術の向上と士気の高揚を図ることができました。					
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 09消防費

項 01消防費

目 03消防施設費

事務事業番号 09010301

事業名		消防施設・装備等整備事業		担当部署	消防本部 総務課				
根拠法令		消防法							
令和4年度決算額	60,740	千円	項目評価				<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">A</td> </tr> </table>	総合評価	A
総合評価									
A									
財源内訳	国道支出金	36,456	千円						
	地方債		千円						
	その他		千円						
	一般財源	24,284	千円						
事業費（総計）	71,483	千円							
決算額	60,740	千円							
人件費	10,743	千円							
事業の目的	災害時等における消防活動の充実強化を図るため、老朽化した資機材等を更新し、消防体制の維持、強化を図ります。								
事業の内容	<p>SDGs17の目標</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・感染対策用備蓄資機材の購入 ・末広出張所地下タンクライニング ・位置情報通知用回線（IP-VPN）における光回線の整備 ・防災倉庫の整備 ・防火水槽の新設 ・除細動器の更新 ・救急救命講習用資機材の更新 ・消防用ホースの購入 ・消火栓の新設 ・救助資器材の更新 ・水難救助資器材の更新 ・特殊防火衣（耐熱服）の更新 								
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度			
	防火水槽の新設		基	1	1	1			
	消防用ホースの購入		本	114	130	122			
	消火栓の新設		基	6	6	3			
項目評価	高 → 低			評価の理由					
	4	3	2				1		
	有効性	●							消防活動等に必要な施設・装備等を更新し、強固な消防体制の運用を図っているため「4」としました。
	効率性	●							最新の施設・装備等を導入することにより、効率的な消防活動等を行うことができているため「4」としました。
	公平性	●							計画的な施設・装備等の更新により市民の安心・安全を図ることができるため「4」としました。
将来性	●				消防体制の維持、強化のために計画的に施設・装備等の更新を実施することにより、市民の安心・安全を図ることができるため「4」としました。				
総合評価	A			老朽化した施設・装備等の更新を図ることで、消防体制が強化され、市民の生命、身体及び財産を災害から保護することができ、事業の有効性は高く、費用に見合った効果を得ていると考えています。					
特記事項	決算額については、消防施設・装備等整備事業費【事故繰越し】の事業費を含んでいます。								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 09消防費

項 01消防費

目 03消防施設費

事務事業番号 09010302

事業名		消防車両整備事業		担当部署	消防本部 総務課				
根拠法令		消防法							
令和4年度決算額		1,611	千円	項目評価					
財源内訳	国道支出金	1,100	千円						
	地方債		千円						
	その他		千円						
	一般財源	511	千円						
事業費（総計）		8,773	千円						
決算額		1,611	千円						
人件費		7,162	千円						
事業の目的		災害時等における消防活動の充実強化を図るため、老朽化した車両の更新及び新たに消防車両を導入し、消防体制の維持、強化を図ります。							
事業の内容 SDGs17の目標		 <ul style="list-style-type: none"> ・沼ノ端出張所に配備している査察自動車（平成19年式）の更新 ・日新出張所に大型水槽車を導入（大型車両のシャシ製造が不透明となり延期） 							
実施結果 (活動指標)		指標名				単位	R4年度	R3年度	R2年度
		査察自動車の更新				台	1	0	1
		大型水槽車の導入				台	延期	0	0
項目評価		高 → 低				評価の理由			
		4	3	2	1				
有効性		●				老朽化した車両の更新を図ることにより、消防体制が維持され、火災危険の抑制や災害発生時の被害の軽減が図られているため「4」としました。			
効率性		●				車両を更新することにより、車両運用の効率を図ることができているため「4」としました。			
公平性		●				計画的な車両の更新により、市民の安心・安全を確保することができるため「4」としました。			
将来性		●				最新の車両を導入することにより、消防力が増強され市民の安心・安全を図ることができるため「4」としました。			
総合評価		A				老朽化した車両の更新を図ることで、消防体制が強化され、市民の生命、身体及び財産を災害から保護することができ、事業の有効性は高く、費用に見合った効果を得ていると考えています。大型車両のシャシ製造が不透明な状況ではありますが、動向を注視し、今後も計画的な更新を図りたいと考えています。			
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 09消防費

項 01消防費

目 03消防施設費

事務事業番号 09010303

事業名		救急車両整備事業		担当部署	消防本部 総務課						
根拠法令		消防法									
令和4年度決算額	34,256	千円	項目評価				<table border="1"> <tr> <th colspan="2">総合評価</th> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table>	総合評価		A	
総合評価											
A											
財源内訳	国道支出金	27,000	千円								
	地方債		千円								
	その他		千円								
	一般財源	7,256	千円								
事業費（総計）	41,418	千円									
決算額	34,256	千円									
人件費	7,162	千円									
事業の目的	災害時等における救急活動の充実強化を図るため、老朽化した救急車両を更新し、救急体制の維持、強化を図ります。										
事業の内容 SDGs17の目標	 <ul style="list-style-type: none"> ・高規格救急自動車及び高度救命処置用資器材の更新 										
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度					
	高規格救急自動車の更新		台	1	0	0					
	高度救命処置用資器材の更新		式	1	0	0					
項目評価	高 → 低			評価の理由							
	4	3	2				1				
	有効性	●							老朽化した車両の更新を図ることにより、救急体制が強化され、市民の安心・安全が図られているため「4」としました。		
	効率性	●							車両を更新することにより、車両運用の効率を図ることができているため「4」としました。		
	公平性	●							計画的な車両の更新により、市民の安心・安全を確保することができるため「4」としました。		
将来性	●				最新の車両を導入することにより、消防力が増強され市民の安心・安全を図ることができるため「4」としました。						
総合評価	A			老朽化した車両の更新を図ることで、救急体制が強化され、市民の生命、身体及び財産を災害から保護することができ、事業の有効性は高く、費用に見合った効果を得ていると考えています。							
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 09消防費

項 01消防費

目 03消防施設費

事務事業番号 09010304

事業名		高機能消防指令システム部分更新事業		担当部署	消防本部 総務課						
根拠法令		消防法									
令和4年度決算額		89,210	千円	項目評価							
財源内訳	国道支出金	70,000	千円								
	地方債		千円								
	その他		千円								
	一般財源	19,210	千円								
事業費（総計）		96,372	千円								
決算額		89,210	千円								
人件費		7,162	千円								
事業の目的		高機能消防指令システムの部分更新を行い、強固な通信基盤の維持、強化を図ります。									
事業の内容 SDGs17の目標		 <ul style="list-style-type: none"> ・高機能消防指令システムのうち、耐用年数を迎える情報系機器等の更新 									
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度			
		高機能消防指令システム部分更新			式	1	0	0			
項目評価		高 → 低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							部分更新により、強固な通信基盤の維持、強化が図られているため「4」としました。		
効率性		●							最小限の更新で目的に見合った効果が得られているため「4」としました。		
公平性		●							市内全域からの119番通報に係るため「4」としました。		
将来性		●				次回更新まで安定した指令システムの運用が図られるため「4」としました。					
総合評価		A				耐用年数を迎える情報系機器等の更新により、指令システムの安定運用が図られ、事業の有効性は高く、費用に見合った効果を得ていると考えています。					
特記事項											